

# 都立杉並総合高校 令和3年度年間授業計画

教 科:芸術 科 目:( 書道 I ) 単 位 数:( 2 単位)

対象年次組: 第1年次生徒

使用教科書:( 東京書籍 書道 1 )

	指導内容	科目書道 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4 月	書道表現、書道鑑賞。書道用具・用材を学ぶ。	小・中学校で学習した基本事項の確認。 用具・用材による表現の違いを理解させる。	中学までに学習した基本を身につけている。 文房四宝に対する関心・知識。	2
	姿勢・執筆法を身につける。	文字を書く時の姿勢・用筆を確認し目的に応じた用法を理解させる。 筆・紙・硯・墨の特徴を学ぶ。	多様な表現に関する関心。 用具・用材による工夫及び表現の工夫。	2
	古典の鑑賞および臨書の表現をまなぶ。	書の古典の臨書や鑑賞により書表現の創造性を理解する。	古典の鑑賞・臨書に対する関心。 鑑賞と表現における関連に対する理解。	2
	書への視野を広げ自ら表現することを学習する。	身の回りの書に対する視野を広げ、その美しさや楽しさを感じることを見出す。	多様な表現に関する理解。	2
5 月	漢字の書体の変革を学ぶ。楷書の成立過程とその用筆を理解させる。	楷書の特徴を理解する。 楷書の成立過程を理解する。	楷書の特徴に関心を持ち書体の変遷を理解している。	2
	書道史における唐時代の位置づけを確認し唐の楷書の特徴を理解させる。	書道史における隋、唐時代の位置づけを確認する。 用筆と字形の特徴を理解し臨書・鑑賞する。	書風の変化に関心を持ち意欲的・主体的に取り組む。	2
	鑑賞・臨書を通じて「九成宮醜宮泉銘」の特徴を理解させる。	書道史上における筆者について学ぶ。 用筆・字形の特徴を理解し臨書する。	古典の技法に関心を持ち、その鑑賞できる。 古典の特徴を理解しその技法を習得し表現に生かしている。	2
	鑑賞・臨書を通じて「雁塔聖教序」の特徴を理解させる。 	書道史上における筆者について学ぶ。 用筆・字形の特徴を理解し臨書する。	古典の技法に関心を持ち、その鑑賞できる。 古典の特徴を理解しその技法を習得し表現に生かしている。	2
6 月	初唐の三大家の関係や書風を理解させる。	初唐の三大家の関係を学びそれぞれの関係を一覧表にまとめる。	初唐の三大家の技法・書風について理解している。	4
	鑑賞・臨書を通じて「牛橛造像記」の特徴を理解させる。	書道史における北魏の位置づけを確認する。 唐の楷書の書風と比較する。 用筆と字形の特徴を理解し臨書・鑑賞する。	「牛橛造像記」の表現技法に関心を持ち鑑賞している。 用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている。	2
	鑑賞・臨書を通じて「鄭義下碑」の特徴を理解させる。	「鄭義下碑」を鑑賞しその字形や用筆法をとらえノートのにまとめる。 唐の楷書の書風と比較する。 用筆と字形の特徴を理解し臨書・鑑賞する。	「鄭義下碑」の表現技法に関心を持ち鑑賞している。 用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている。	2
	鑑賞・臨書を通じて「隅寺心経」の特徴を理解させる。	「隅寺心経」を鑑賞しその字形や用筆法をとらえノートのにまとめる。 般若心経の概要を理解し通常の楷書体と比較する。 用筆と字形の特徴を理解し臨書・鑑賞する。	「隅寺心経」の特徴を理解し表現を工夫している。	2
7 月	行書の特徴とその成立過程を理解する。 鑑賞・臨書を通じ「蘭亭序」の特徴を理解する。	書道史における「蘭亭序」の位置づけとその文章の概要をまなぶ。 古典資料を鑑賞し用筆や字形の特徴を理解し臨書する。 筆者について学ぶ。	「蘭亭序」の表現技法に関心を持ち鑑賞している。 用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている。	2
	日本行書の特徴とその成立過程を理解する。 鑑賞・臨書を通じ「風信帖」の特徴を理解する。	書道史における「風信帖」の位置づけとその文章の概要をまなぶ。 古典資料を鑑賞し用筆や字形の特徴を理解し臨書する。 筆者について学ぶ。	「風信帖」の表現技法に関心を持ち鑑賞している。 用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている。	2
	蜀素帖の特徴とその成立過程を理解する。 鑑賞・臨書を通じ「蜀素帖」の特徴を理解する。	書道史における北宋の位置づけとその文章の概要をまなぶ。 古典資料を鑑賞し用筆や字形の特徴を理解し臨書する。 筆者について学ぶ。	「蜀素帖」の表現技法に関心を持ち鑑賞している。 用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている。	2
	古典の学習を生かして楷書・行書作品を創作する。	創作の手順を理解し、作品を構想する。 古典からの創作イメージをイメージし、紙面構成を考える。 創作を通じ、これまで学習した楷書・行書への関心を深める。	作品創作における関心。 用筆・運筆の理解表現。 字形や全体の構成。	4

	指導内容	科目書道 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
9 月	草書の特徴とその成立過程を理解する。 鑑賞・臨書を通じ「書譜」の特徴を理解する。	「書譜」と孫過庭について学ぶ。 草書の成立過程を確認する。 草書の特徴と用筆に注意し臨書する。	「書譜」の表現技法に関心を持ち鑑賞している。 用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている。	2
	隸書の特徴とその成立過程を理解する。 鑑賞・臨書を通じ「曹全碑」の特徴を理解する。	楷・行・草書との比較、用筆・造形の相違を確認する 隸書の成立過程を確認する。 隸書の特徴と用筆に注意し臨書する。	「曹全碑」の表現技法に関心を持ち鑑賞している。 用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている。	2
	篆書の特徴とその成立過程を理解する。 鑑賞・臨書を通じ「泰山刻石」の特徴を理解する。	楷・行・草書との比較、用筆・造形の相違を確認する 篆書の成立過程を確認する。 篆書の特徴と用筆に注意し臨書する。	「泰山刻石」の表現技法に関心を持ち鑑賞している。 用筆・運筆の技法を習得し表現に生かしている。	2
	篆刻を通じ文字を刻す文化を理解する。 撰文・検字。	篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について知る。	篆刻に関し興味関心を持っている。 篆刻が書作品や日常生活で果たしている役割を理解している。	2
10 月	篆刻を通じ文字を刻す文化を理解する。 印稿。	篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について知る。	篆刻に関し興味関心を持っている。 篆刻が書作品や日常生活で果たしている役割を理解している。	2
	篆刻を通じ文字を刻す文化を理解する。 撰文・検字。	篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について知る。	篆刻に関し興味関心を持っている。 篆刻が書作品や日常生活で果たしている役割を理解している。	2
	篆刻を通じ文字を刻す文化を理解する。 運刀。	篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について知る。	篆刻に関し興味関心を持っている。 篆刻が書作品や日常生活で果たしている役割を理解している。	2
	篆刻を通じ文字を刻す文化を理解する。 押印。完成。	篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について知る。	篆刻に関し興味関心を持っている。 篆刻が書作品や日常生活で果たしている役割を理解している。	4
11 月	漢字かな交じりの書を知る。	漢字かな交じりの書における様々な表現方法を学び、各時代の作品を鑑賞する。	漢字と仮名の字形や線に関心を持ち意欲的に理解しようとする姿勢を持つ。	2
	漢字かな交じりの書を学ぶ。	創作への関心、意欲を高める。 著作権について知る。 紙面構成の工夫・表現方法について考える。	漢字と仮名の字形や線に関心を持ち意欲的に理解しようとする姿勢を持つ。	2
	漢字かな交じりの書を鑑賞する。	漢字かな交じりの書から受ける印象や表現、構成の効果を具体的に分析する。	漢字と仮名の字形や線に関心を持ち意欲的に理解しようとする姿勢を持つ。	2
	漢字かな交じりの書を創作する。 	創作の手順を理解し作品の構想を練る。 紙面構成に配慮し創作する。 創作を通じ、これまで学習した書体への関心を高める。	表現に応じた選択し作品に対し主体的に取り組んでいる。 文字や構成の関係を理解し調和がはかれている。	2
12 月	書論・書道史	日常生活における書と学習した書とのかかわりを考察し、生活の一部としての書のあり方を考える。	書を身近に感じ、日常生活に生かしている。	2
	仮名の書。その成立過程を理解する	仮名の成立過程を知り、各時代の仮名の特徴を捉える。	仮名の特徴に関心を持ち意欲的、主体的に理解しようとしている。	2
	仮名の基本。用筆法。	小筆の種類や構え方、使い方(に)慣れる。 仮名の字源について理解する。	仮名の表現技法に関心を持っている。 基本的な用筆法を身に着けている。	2

	指導内容	科目書道 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 月	平仮名单体を学習する。	平仮名の特徴を理解する。 仮名表現の特徴を理解して書く。	仮名表現に関心を持っている。 仮名文字の美しさを感じている。	2
	変体仮名单体を学習する。	変体平仮名の特徴を理解する。 仮名表現の特徴を理解して書く。	変体仮名表現に関心を持っている。 変体仮名文字の美しさを感じている。	2
	鑑賞・臨書を通じて「蓬萊切」の特徴を理解させる。	「蓬萊切」の特徴を鑑賞しそのおおらかな書風や字形を理解し臨書する。	「蓬萊切」の表現技法に関心を持っている。 古典資料の技法を習得し、表現に生かしている。	2
	鑑賞・臨書を通じて「関戸本古今和歌集」の特徴を理解させる。	用筆や字形の特徴を理解し臨書する。 古筆の多様な美しさと表現を知る	「関戸本古今和歌集」の表現技法に関心を持っている。 古典資料の技法を習得し、表現に生かしている。	2
2 月	鑑賞・臨書を通じて「高野切」の特徴を理解させる。	「高野切2種」を臨書しその変化にとんだ線を理解する。 用筆や字形の特徴を理解し臨書する。 古筆の多様な美しさと表現を知る	「高野切2種」の表現技法に関心を持っている。 古典資料の技法を習得し、表現に生かしている。	2
	鑑賞・臨書を通じて「寸松庵色紙」の特徴を理解させる。	「寸松庵色紙」の特徴を鑑賞し行の高さや余白、書風や字形を理解し臨書する。	「寸松庵色紙」の表現技法に関心を持っている。 古典資料の技法を習得し、表現に生かしている。	2
	鑑賞・臨書を通じて「升色紙」の特徴を理解させる。	「升色紙」の特徴を鑑賞しゆったりとした連綿、大胆な余白・散らし書きの美しさを理解し臨書する。	「升色紙」の表現技法に関心を持っている。 古典資料の技法を習得し、表現に生かしている。	2
	古典の学習を生かし、仮名作品を創作する。 	古典の学習を生かし、仮名作品を創作する。 創作の手順を理解し作品構想を練る。	作品創作に関心を持っている。 用筆・運筆理解し表現できている。	4
3 月	古典の学習を生かし、仮名作品を創作する。	表現したいイメージを古典から見つけ紙面構成に配慮し創作する。 今まで学習した、漢字の書・篆刻を総括し作品を完成させる。	全体の構成に配慮し表現している。	2
	暮らしの中の書。	日常生活における書と学習した書とのかかわりを考察し、自らの生活に取り入れる意識を高める。 実用的な書の大切さを理解しこれまで学習した成果を生かす。	実用的な表現の事項を理解し学習したことが身に付き表現活動をおこなう。	2